

## 平成29年度 若年性認知症総合支援センター相談等実績

- \* 東京都若年性認知症総合支援センター（NPO法人いきいき福祉ネットワークセンターに運営委託）を「目黒」、東京都多摩若年性認知症総合支援センター（社会福祉法人マザアスに運営委託）を「多摩」と表記
- \* 目黒センターは平成 24 年 5 月に開設。多摩センターは平成 28 年 11 月に開設。

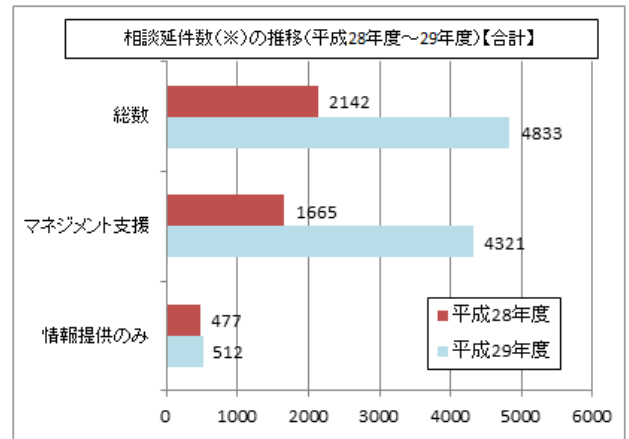
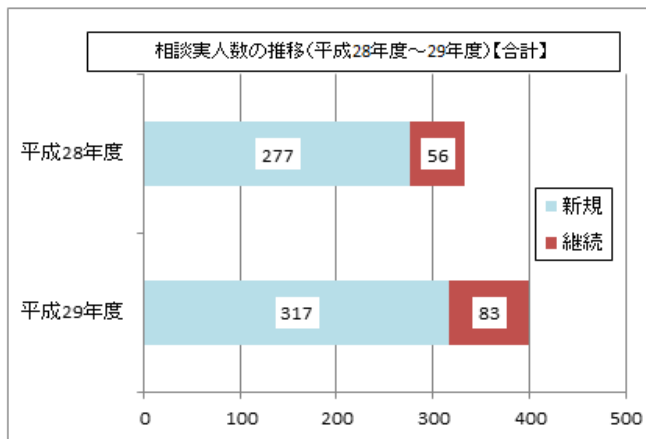
### 1 相談体制

若年性認知症支援コーディネーターの配置数は、目黒が 3 名。  
多摩は平成 29 年度から 2 名から 3 名に拡充。

### 2 相談実人数・相談延件数

平成 29 年度の相談実人数は、目黒が 283 人（内新規 220 人）、多摩が 117 人（内新規 97 人）であった。相談延件数は、目黒が 2,308 件、多摩が 2,525 件、合計 4,833 件（対前年+2,691 件）であった。

	相談実人数（人）		相談延件数※ （件）
	新規	継続	
目黒	283	63	2,308
多摩	117	20	2,525
計	400	83	4,833



#### ※相談延件数

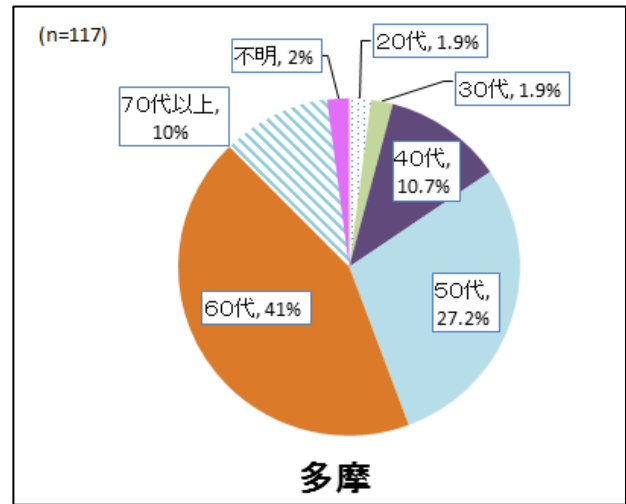
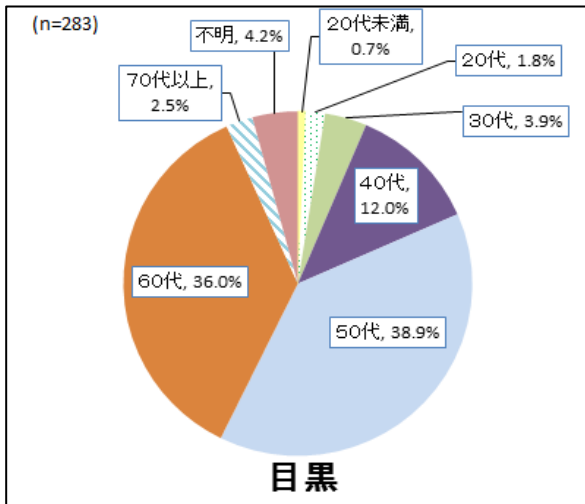
相談を受けた延件数と相談に対応した延件数の合計。

平成 29 年度は多摩が通年実施となったことや、相談員を 2 名から 3 名に拡充したこと、相談件数のカウント方法を変更したことにより、相談件数が増えている。

### 3 相談対象者・相談者

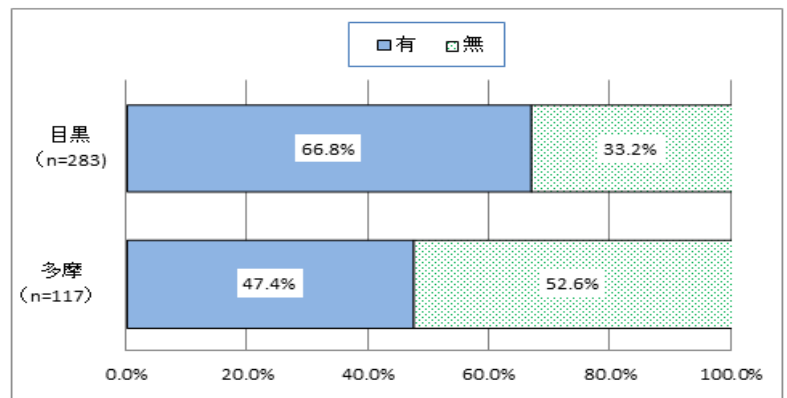
#### (1) 相談対象者の年代

目黒は50代が最も多く38.9%、次いで60代で36.0%あった。  
 多摩は60代が最も多く41.0%、次いで50代が27.2%であった。  
 両センターとも50代と60代で全体の約7割を占めている。



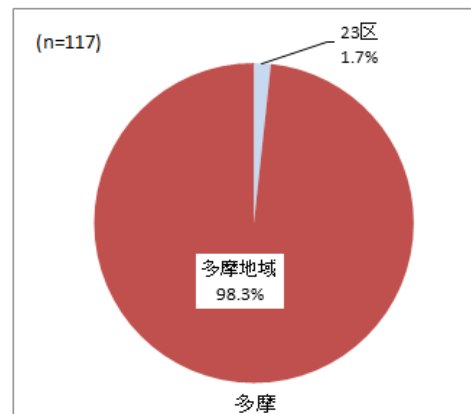
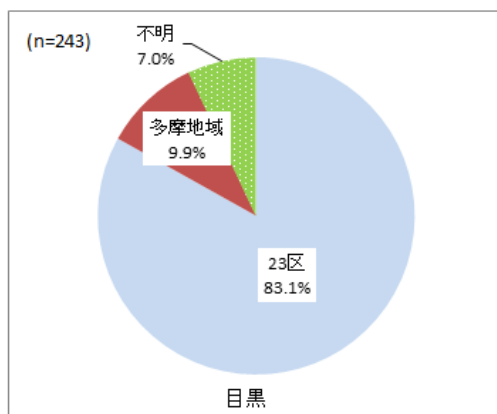
#### (2) 診断有無

認知症の診断について、診断を受けている人は目黒では66.8%、多摩では47.4%であった。診断を受けていない人は、目黒では33.2%、多摩では52.6%であった。



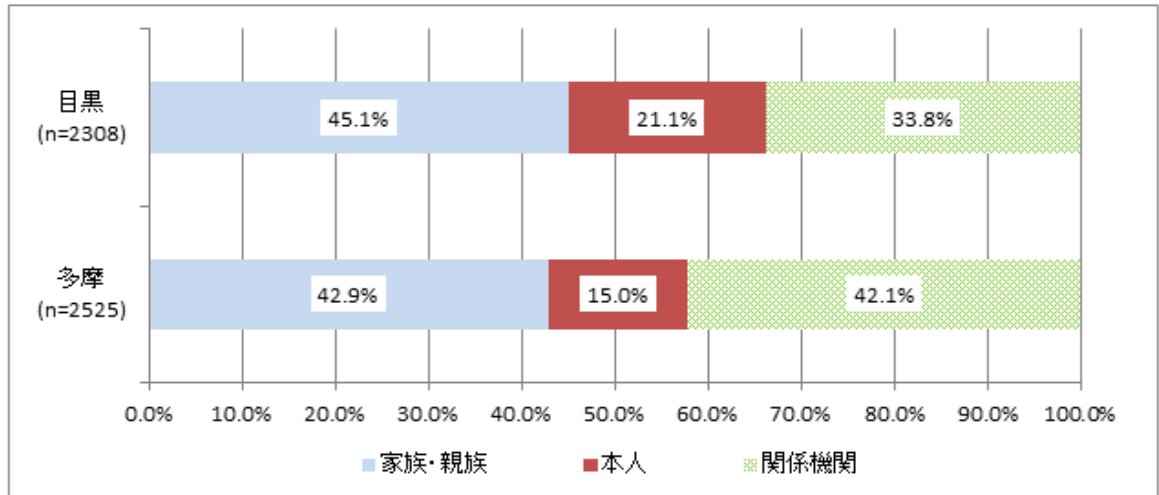
#### (3) 居住地

都内居住者のうち、目黒の相談者は83.1%が23区居住、多摩の相談者は98.3%が多摩地域居住であった。



(4) 相談者の内訳

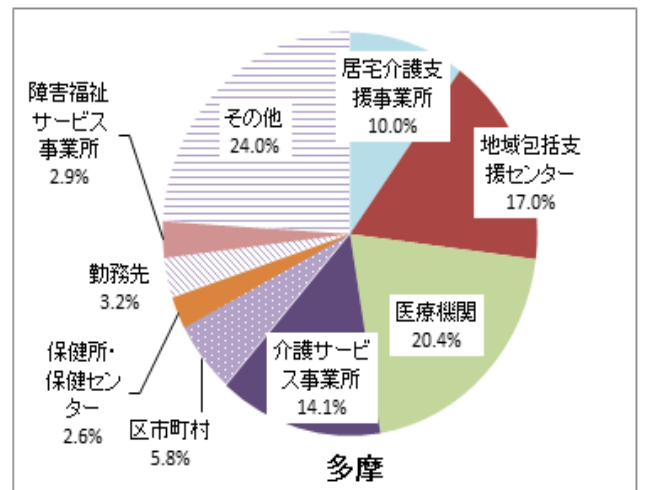
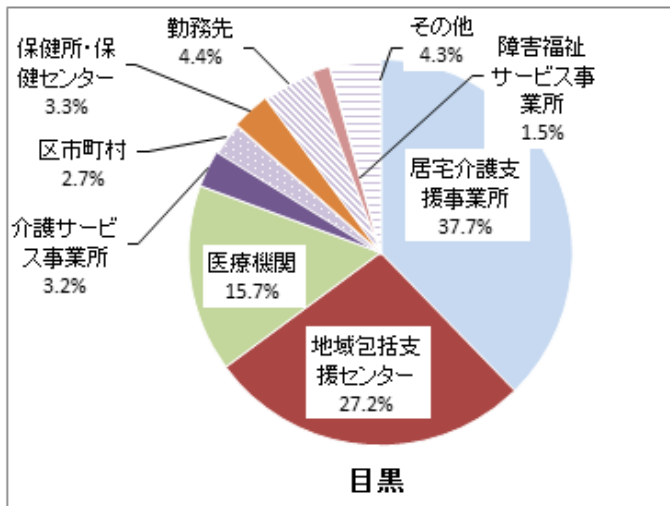
相談者の内訳は、目黒・多摩とも家族・親族からが最も多く、次いで関係機関、本人の順であった。



< 関係機関の内訳 >

目黒では、居宅介護支援事業所が 37.7%と最も多く、次いで、地域包括支援センター 27.2%、医療機関 15.7%の順であった。

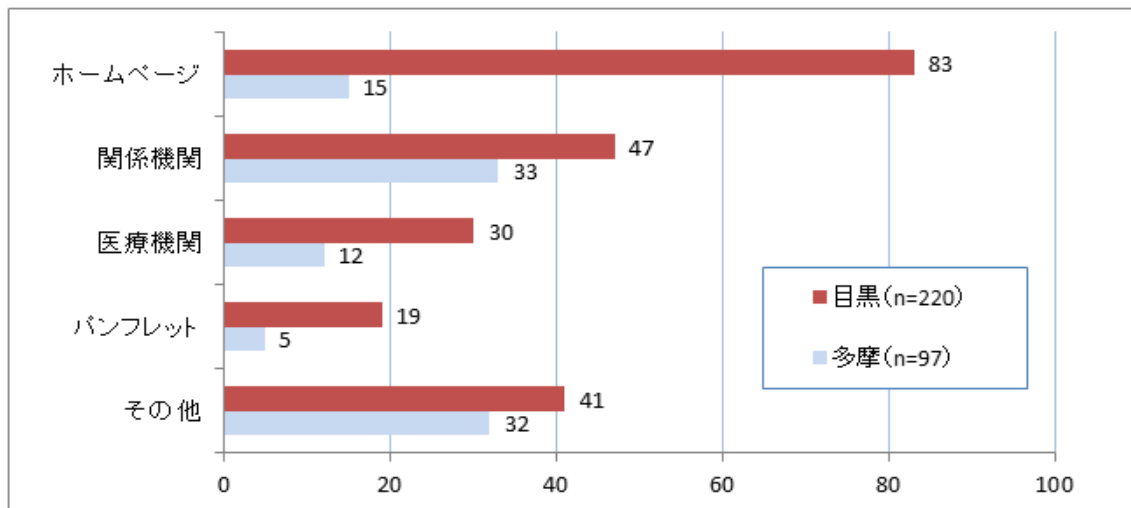
多摩では、医療機関が 20.4%と最も多く、次いで、地域包括支援センター17.0%、介護サービス事業所 14.1%の順であった。



#### 4 相談につながった媒体

目黒の新規相談者（220人）について、相談につながった媒体は、各センターや東京都のホームページが最も多く、次いで関係機関の順であった。

多摩の新規相談者（97人）について、相談につながった媒体は、関係機関が最も多く、次いでその他（研修や講演会での宣伝や行政広告等）の順であった。



#### 5 相談内容

##### (1) 相談内容の内訳（実人数）

目黒では相談実人数の31.1%に対して、多摩では相談実人数の53.6%に対して、訪問・面談・会議等によるマネジメント支援を行い、必要な社会資源を導入するためのコーディネートを行った。

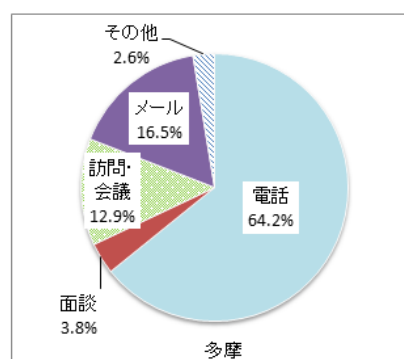
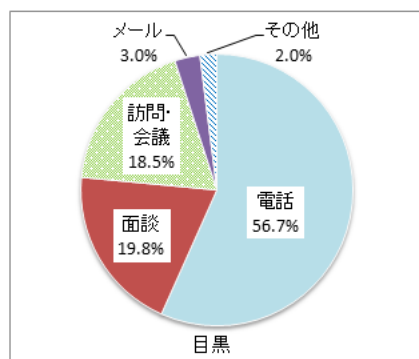
	マネジメント支援	情報提供
目黒	88 (31.1%)	195 (68.9%)
多摩	52 (53.6%)	45 (46.4%)
計	140 (36.8%)	240 (63.2%)

##### (2) マネジメント支援の方法（割合）

相談支援の方法は、いずれも電話によるものが最も多く、約6割であった。

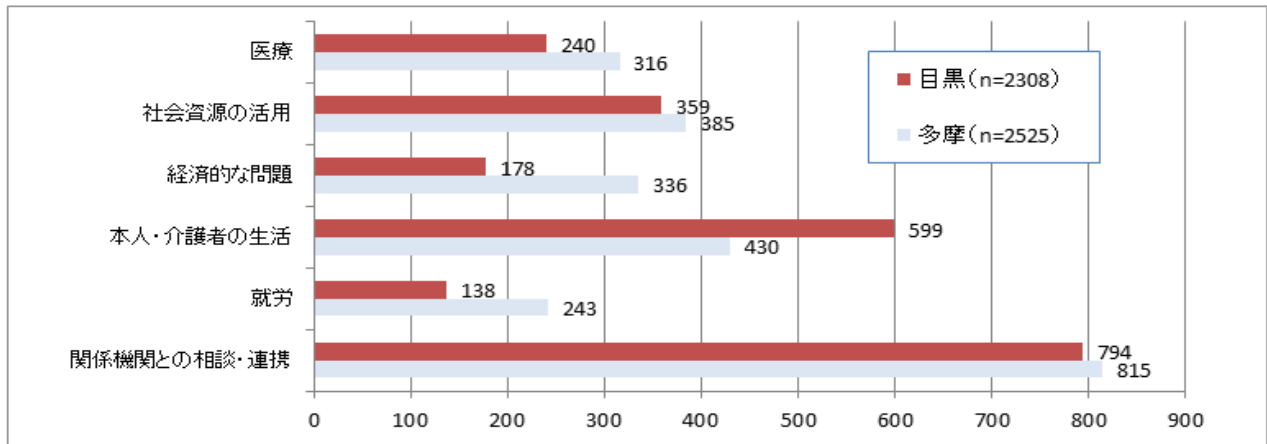
目黒では次いで、面談19.8%、訪問・会議18.5%の順であった。

多摩では次いで、メールが16.5%、訪問・会議12.9%の順であった。



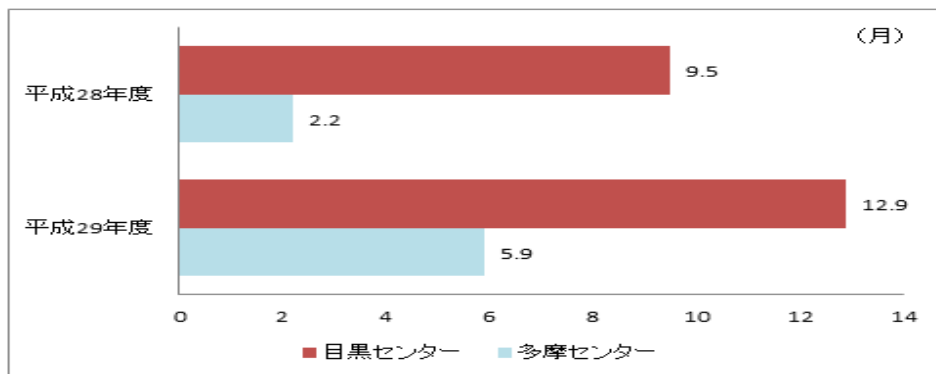
### (3) 相談内容の分類（件数）

「関係機関との相談・連携」に関する相談内容が最も多く目黒で 794 件、多摩で 815 件であった。次いで「本人・介護者の生活に関する相談」（目黒 599 件、多摩 430 件）、「社会資源の活用に関する相談」（目黒 359 件、多摩 385 件）の順が多かった。



### (4) 帰結までの期間

マネジメント支援の対象者について、平均帰結期間は目黒が 12.9 か月（対前年+3.4 か月）、多摩が 5.9 か月（対前年+3.7）であった。



## 6 その他の取組

### (1) 目黒

#### ア 「東京都若年性認知症相談支援マニュアル」の発行

東京都若年性認知症総合支援センターでの平成 25 年度の相談内容と、平成 25 年から 27 年までに行った相談支援のデータをまとめ、分析をし、各相談内容に対する相談支援方法を普遍化。（各区市町村及び地域包括支援センター等へ配布）

#### イ 相談支援研修の実施

「東京都若年性認知症相談支援マニュアル」を教材として、区市町村職員、地域包括支援センター職員を対象に研修を実施。（年 3 回実施、238 名参加）

#### ウ 認知症疾患医療センターと連携した家族相談会

区西北部の拠点型センターである地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、板橋区及び板橋区医師会共催で1回、相談会を実施。

エ 東京都、区市町村等が実施する研修への講師派遣、若年性認知症家族会情報交換会への協力

オ 「東京都若年性認知症総合支援センター」のパンフレットの作成・配布  
都内の各区市町村所管課、各地域包括支援センター、認知症疾患医療センター及び医療機関等にパンフレットを配布。

## (2) 多摩

ア 認知症疾患医療センターと連携した家族相談会  
南多摩の拠点型センターである医療法人社団光生会平川病院で1回、相談会を実施。

イ 東京都、区市町村等が実施する研修への講師派遣、若年性認知症家族会情報交換会への協力

ウ 「東京都若年性認知症総合支援センター」のパンフレットの作成・配布  
都内の各区市町村所管課、各地域包括支援センター、認知症疾患医療センター及び医療機関等にパンフレットを配布。